

資 料

リンドウ育成品種の品種特性

Characteristics of Gentian Varieties Bred by Iwate Horticultural Experiment Station

藤原一道

Kazumichi FUJIWARA

I. はじめに

岩手県におけるリンドウの栽培は昭和33年頃に始まったとされている。栽培開始当初は優良な品種がなく、山採りの株や自家採種の種子が種苗として使われていたが、切花の品質や揃いが不安定である点が生産上の問題であった。岩手県園芸試験場では、昭和38年頃から栽培に関する研究に取り組んだが、作付を増やして産地を確立するためには、優れた品種を有することが不可欠であると考へ、市場性の高い品種の育成を目的に、昭和42年に育種を開始した。

育種素材として各地の自生種や市販の種苗などを収集した。当初目的とした固定種の育成は、自殖と選抜の反復だけでは困難であったが、集団選抜法によることで比較的安定した特性を有する個体群を育成することが可能となった。さらに、選抜集団同士の交配による一代雑種育種法を試みたところ、雑種第一代の形質や栽培特性が優れ、きわめて有効な育種法であることが明かとなった。これらの方法を採用したことで育種が大きく進展し、営利栽培に使用し得る品種の育成が可能とな

り、種苗の供給体制も確立された。

現在は、これまでに育成した‘いわて’をはじめとする9品種の普及により、県内各地に産地が形成され、高い品質と安定した生産量が全国的に高く評価されている。以下に、これまでの育成品種について、育成経過と品種特性の概要を紹介したい。

II. 育成経過と品種特性

1 いわて

育成経過；紫波郡矢巾町に自生する青色エゾリンドウの実生後代からの選抜系を母親に、岩手郡松尾村に自生する青色エゾオヤマリンドウの実生後代からの選抜系を父親にして、昭和44年に交雑した。得られた実生を育成して同46年以降特性調査を行った結果、切花用中生種として有望な1組合せを確認し、名称登録した（昭和52年9月、名称登録〔旧種苗法〕第311号）。

品種特性；開花期が8月下旬～9月上旬の中生種で、花がやや大きく、花色が濃く揃いがよい。草丈は85cm程度で、株立本数は2年株で7本前後である。茎の太さは5mm程度であるがきわめて強く、直立して側枝はほとんど発生しない。葉は濃

緑色の立葉である。着花節数は7～8節で茎の上部に花数が多い。着花数は30個内外で、上下の花がほぼ同時に開花する。葉枯病に対する耐病性はやや強い。(図版、1)

2 いわて乙女

育成経過；岩手郡雫石町に自生する青色エゾオヤマリンドウの実生後代からの選抜系を母親に、福島県吾妻山産の青色エゾオヤマリンドウの実生後代からの選抜系を父親にして昭和54年に交雑した。得られた実生を育成して同56年以降特性調査を行った結果、鉢花用中生種として有望な1組合せを確認し、品種登録した(昭和59年3月、品種登録第544号)。

品種特性；自然開花期が8月中～下旬の中生種である。茎の太さが4mm前後と鉢物リンドウとしてはきわめて太く、茎が直立するため、従来の鉢物リンドウと異なり、切花用リンドウをそのまま小型化したような草姿となる。草丈は実生2年株で17cm前後となる。花は茎の頂部に集合し、花冠の形は鐘形で先端部は転回しない。花色は鮮青紫色で斑点がない。葉は濃緑色で小さく、立葉である。(図版、2)

3 イーハトーヴォ

育成経過；北海道系の青色エゾリンドウの実生後代からの選抜系を母親に、福島県吾妻山産の青色エゾオヤマリンドウの実生後代からの選抜系を父親にして昭和54年に交雑した。得られた実生を育成して同56年以降特性調査を行った結果、切花用早生種として有望な1組合せを確認し、品種登録した(昭和61年8月、品種登録第1100号)。

品種特性；開花期が8月上～中旬の早生種である。茎は中程度の太さで強く、株立本数が多い。草丈は100cm程度である。茎全体が黒紫色を呈し、側枝の発生はほとんどない。花色は濃青紫色で、花段数は4～5段程度である。葉は濃緑色で中程度の大きさとなる。(図版、3)

4 ジョバンニ

育成経過；紫波郡矢巾町に自生する青色エゾリンドウの実生後代からの選抜系同士を昭和55年に

交雑し、得られた実生を育成して同57年以降特性調査を行った結果、切花用晩生種として有望な1組合せを確認し、品種登録した(昭和61年8月、品種登録第1101号)。

品種特性；開花期が9月中～下旬の晩生種である。草丈が120cm程度と高く、茎は太くて強い。茎立数は中程度である。茎の着色がわずかで、ほぼ緑色である。側枝は若干着生する。花色は濃青紫色で花段数は5～6段である。葉の大きさはやや大きめである。(図版、4)

5 アルビレオ

育成経過；市販の九州産の青色リンドウ切花の実生後代からの選抜系を母親に、福島県磐梯山産の青色エゾリンドウの実生後代からの選抜系を父親にして昭和60年に交雑した。種間交雑(*G. scabra* × *G. triflora*)であったが問題なく受粉・結実した。得られた実生を育成して同62年以降特性調査を行った結果、切花用極晩生種として有望な1組合せを確認し、品種登録した(平成2年12月、品種登録第2553号)。

品種特性；開花期が10月上～中旬の極晩生種である。草丈が140cm程度ときわめて高く、茎は太くて強い。茎全体が黒紫色となり、中～下部に側枝が発生する。葉は幅が広く大きめとなる。花は大きく、花冠の先端が大きく転回する。花冠の内面は鮮青紫色、外面は暗青紫色で、内面に若干斑点がある。本種は花冠外面の色も青紫色となるため、花が閉じているときも鑑賞価値が低下しないという特徴がある。花段数は6～8段と多い。(図版、5)

6 マシリィ

育成経過；北海道系の青色エゾリンドウの実生後代からの選抜系を母親に、福島県吾妻山産の青色エゾオヤマリンドウの実生後代からの選抜系を父親にして昭和60年に交雑した。得られた実生を育成して同62年以降特性調査を行った結果、切花用早生種として有望な1組合せを確認し、品種登録した(平成4年2月、品種登録第3073号)。

品種特性；開花期が7月下旬～8月上旬の早生種である。本県の品種のうち最も開花が早い。茎

はやや細く、草丈は90cm程度である。茎の着色は少ない。茎立ち本数は少なめである。花色は青紫色で花冠の先端がわずかに外反転する。花段数は4段程度である。葉はやや大きい。(図版、6)

7 ホモイ

育成経過：北海道産の白色エゾリンドウの実生後代からの選抜系を母親に、長野産の白色エゾリンドウの実生後代からの選抜系を父親にして昭和60年に交雑した。得られた実生を育成して同62年以降特性調査を行った結果、切花用白花中生種として有望な1組合せを確認し、品種登録した(平成4年2月、品種登録第3074号)。

品種特性：開花期が8月下旬～9月上旬の中生種である。草丈が120cm程度と高いが、節数が少ないため節間長が長くなる。茎は淡緑色でやや弱い。茎立ち数は多い。葉は狭披針形で、細長い。花は内外面とも黄白色で斑点はほとんどない。花段数が6～8段と多く、茎当りの花数も多い。花は下位の段から開花する。(図版、7)

8 アルタ

育成経過：市販の鳥取産の青色リンドウ切花の実生後代からの選抜系を母親に、市販の九州産の青色リンドウ切花の実生後代からの選抜系を父親にして昭和62～63年に交雑した。得られた実生を育成して平成元年以降特性調査を行った結果、切花用極晩生種として有望な1組合せを確認し、品種登録申請した(平成4年3月、品種登録出願中)。

品種特性：開花期が10月中～下旬の極晩生種である。草丈は100cm前後で、茎は太く強い。茎はほぼ全体が黒紫色に着色し、側枝が発生する。茎立ち数はやや少ない。花は大きく、花冠の先端が外反転する。花冠内面の色は青紫色、外面はややくすんだ青紫色で、紫褐色の縞模様がある。花冠内面に若干斑点がある。花段数は6～8段である。(図版、8)

9 ポラーノホワイト

育成経過：市販の白花リンドウを栄養繁殖で維持・増殖したものを母親に、市販の白花エゾリンドウの実生後代からの選抜系を父親にして昭和53

年に交雑した。種間交雑(*G. scabra* × *G. triflora*)であったが、受粉・結実には問題なく、は種後の成育も順調であった。育成集団の中に有望な5個体を確認し、それぞれについて栄養繁殖で増殖してさらに調査を行った結果、切花用白花晩生種として有望な1系統を選抜し、品種登録申請した(平成5年3月、品種登録申請中)。なお、本種は実生による再現性がきわめて低いため、栄養繁殖で維持される。

品種特性：開花期が9月下旬～10月上旬の晩生種である。草丈は120cm前後で茎の太さ・強さは中程度である。茎はほぼ全体が黒紫色に着色し、茎全体に側枝が発生する。側枝は中部から下部にかけて長いものが着生し、スプレー咲となる。茎立ち数は多い。花の大きさは中程度で、花冠の先端が外反転する。花冠内外面とも黄白色で、小斑点がある。花冠外面に淡緑色の縞模様がある。葉は濃緑色で小さいが、光沢がない。(図版、9)

表1 育種素材の主要系統とその特徴

花色	系統名	分類	特 徴				
			早晩生	草丈	葉	花色	花形
青 色	北海道系	エゾリンドウ	早生	高い	やや大きい	濃い	鐘形
	吾妻系	エゾオヤマリンドウ	早生	中	小さい	濃い	〃
	松尾系	〃	中生	中	小さい	中	〃
	千沼ヶ原系	〃	中生	低い	小さい	中	〃
	矢幅系	エゾリンドウ	晩生	高い	大きい	濃い	〃
	磐梯系	〃	晩生	高い	細長い	濃い	〃
	大分系	リンドウ	極晩生	高い	幅が広い	濃い	広鐘形
	鳥取系	〃	極晩生	中	やや広い	中	〃
白 色	北海道系	エゾリンドウ	中生	高い	細長い	純白色	鐘形
	長野系	〃	中生	高い	細長い	純白色	〃
	玉山系	〃	晩生	中	大きい	やや青みが かった白色	〃

表2 育成品種の特徴

品種名	開花期 月・半旬	開花 順序	花形	花色	斑点の 程度	茎の 着色	側枝数	葉身の 形状	葉の 着生角	葉色
いわて	8・6	全	鐘形	鮮青紫	少	少	無～少	披針形	小	濃
いわて乙女	8・5	全	鐘形	〃	無	少	少	披針形	中	濃
イーハトーヴォ	8・1	全	狭鐘形	明青紫	少	多	無	狭楕円形	中	濃
ジョバンニ	9・4	全	狭鐘形	鮮青紫	少	少	無～少	狭楕円形	中	濃
アルビレオ	10・3	全	鐘形	〃	中	多	多	広披針形	小	濃
マシリイ	7・4	全	鐘形	青紫	少	少	無	披針形	中	濃
ホモイ	8・4	下	狭漏斗形	黄白	少	無	少～中	狭披針形	大	濃
アルタ	10・4	全	鐘形	青紫	少	多	中	広披針形	中	濃
ポラーノホワイト	10・1	全	鐘形	黄白	少	多	多	披針形	中	濃

表3 栽培データ

品種名	草丈 (cm)	茎数 (本)	茎径 (mm)	節数 (節)	節間長 (cm)	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	花段数 (段)	総花数 (個)	花長 (cm)	花径 (cm)
いわて	84.8	7.3	4.5	25.3		8.9	2.6	7.3	32.5		
いわて乙女	17.3	2.4	3.9	13.6	1.3	3.8	1.9	1.2	6.0	4.7	1.3
イーハトーヴォ	96.7	6.3	4.6	25.9	4.4	7.8	2.6	4.1	44.4	4.8	1.4
ジョバンニ	125.7	7.6	5.7	29.0	4.0	10.6	3.2	6.3	30.4	5.3	1.3
アルビレオ	142.6	5.6	7.2	27.7	6.2	8.8	3.7	7.8	57.2	2.7	1.8
マシリイ	92.0	5.2	4.3	22.1	4.3	8.4	2.5	4.0	27.1	5.2	1.3
ホモイ	113.3		4.6	24.7	5.3	10.4	1.9	6.6	75.3	4.7	1.0
アルタ	106.1	9.0	6.1	22.2	4.8	6.3	3.3	6.7	41.8	5.0	1.5
ポラーノホワイト	121.8	12.5	5.1	18.4	7.4	7.3	2.6		70.1	4.7	1.5

表2、3 注1)登録申請時のデータなどを基に作成した。

2)栽培データ；いわて乙女は2年株、それ以外は3年株を調査した。

III. 育成者

表4 育成年次一覧

品 種 名	交配年次	特性調査	登録申請	登録月日	育 成 者
いわて	S. 44年	S. 46年～	S. 48年5月	S. 52. 9. 7	吉池
いわて乙女	S. 53年	S. 55年～	S. 57年7月	S. 59. 3. 19	吉池、横山
イーハトーヴォ	S. 54年	S. 56年～	S. 59年3月	S. 61. 8. 8	吉池、横山、高橋(寿)
ジョバンニ	S. 55年	S. 57年～	S. 59年3月	S. 61. 8. 8	吉池、横山、高橋(寿)
アルビレオ	S. 60年	S. 62年～	H. 1年3月	H. 2. 12. 5	高橋(寿)、阿部、横山、吉池、金野、藤原
マシリィ	S. 60年	S. 62年～	H. 2年3月	H. 4. 2. 29	吉池、高橋(寿)、阿部、横山、藤原
ホモイ	S. 60年	S. 62年～	H. 2年3月	H. 4. 2. 29	吉池、高橋(寿)、阿部、横山、藤原
アルタ	*S. 62～63	*H. 1年～	H. 4年3月		高橋(寿)、高橋(康)
ポラーノホワイト	*S. 53年	S. 55年～	H. 5年3月		藤原、阿部、高橋(寿)、吉池、横山、中野

注) 1) *は南部分場で、それ以外は本場野菜花き部で行った。

2) アルタ、ポラーノホワイトは平成6年3月時点で未登録。

表5 品種育成担当者および担当期間

氏 名	担当期間・職
吉池貞蔵	S 38. 4 ~ 49. 3 (技師、専門研究員、主任専門研究員) 49. 4 ~ 55. 3 (南部分場長) 55. 4 ~ 63. 3 (野菜花き部長)、S 63. 4 ~ H 2. 3 (場長)
横山 温	S 49. 4 ~ 58. 3 (技師、専門研究員)
高橋寿一	S 58. 4 ~ 62. 3 (専門研究員)、S 62. 4 ~ H 2. 3 (南部分場主任専門研究員)
阿部 潤	S 60. 4 ~ 3. 3 (専門研究員)
藤原一道	S 62. 4 ~ H 6. 3 (技師、専門研究員)
中野俊成	H 3. 4 ~ (技師、専門研究員)
金野義雄	S 63. 4 ~ H 2. 3 (野菜花き部長)
高橋康利	H 1. 4 ~ 5. 3 (南部分場長)

図 版



3 イーハトーヴオ



2 いわて乙女



1 いわて

図 版



6 マシリイ



5 アルビレオ



4 ジョバンニ

図 版



9 ポラーノホワイト



8 アルタ



7 ホモイ